

緑化だより

No.74 平成24年7月号



コクチナシ 平成23年7月8日 溪流路付近

- 広島県の美味しいなば(4)
- 野鳥の世界(キセキレイ)
- もみじの話(4)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

広島県の美味しいなば

(4) ムラサキヤマドリタケ(紫山鳥茸)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はムラサキヤマドリタケです。

ムラサキヤマドリタケは梅雨時や秋にコナラ、クヌギ、シイなどブナ科を主とした広葉樹林、またはマツとの混生林に発生します。

傘は暗紫色で、しばしば黄色、オリーブ色、褐色などの色がまだらに混じることがあります。

傘の裏はひだではなく管孔状(小さい穴がたくさんある)で、初め白色のち淡黄色から黄褐色となります。柄は暗紫色の地に白色の網目模様があり特徴的です。肉は白色で厚く、空気にふれても変色しません。

広島県には、ヨーロッパで人気のあるポルチーニの一種であるヤマドリタケモドキ(ムラサキヤマドリタケの仲間)が多いのですが、ヤマドリタケモドキより風味、口当たりともよいという人もいます(川上)



ムラサキヤマドリタケ

野鳥の世界

キセキレイ

初夏の日差しが増してくると、木々の緑も一段と濃くなってきます。

緑化センターの車道に沿って流れる溪流は、初夏に渡ってきて、子育てをする野鳥にとって最良の環境です。毎年数種類の夏鳥が営巣し繁殖しています。

この頃、キセキレイはヒナ鳥を連れて、溪流に姿を現します。カゲロウ、ユスリカ、トビケラ、イトトンボなどたくさんの羽虫が出てくるからです。食欲旺盛なヒナ鳥は水辺の昆虫が大好きなのです。

キセキレイは、四季を通して同じ地域で生活する習性を持っているため姿を見る機会がよくあります。巣立って間もない、若いセキレイの兄弟は仲もよく、一緒に行動することもあります。水際に近い石や砂地で見られることが多いのですが、センター内の道路では、地上に降りた羽虫を取って食べている様子を見かけることがあります。

人や車が近付いても逃げることはなく、車で走っていると、道案内でもしてくれているかのように前を飛びます。その姿は、スマートで色合いも美しく親しみを感じます。

キセキレイとの間が近くなると、ひと声鳴いて少し先へ飛ぶ習性を知り、ついて行くと生活の仕方を観察する事が出来ます。(吉見)



キセキレイ

もみじの話(4)

カエデの手入れと種まき

今月も害虫被害のチェックをしましょう！

木の枝が部分的に、季節はずれの紅葉をしていることがあります。又、幹や太い枝、根元に木屑(のこくず状)が出ていることがあります。これらはテッポウムシの害によるものです。この症状を見つけたら、穴を探し、ナイフの先などで少し広げ、穴の中に原液に近い濃い殺虫剤を、スプレーなどで注入します。穴は上方にむけてリング状に進んでいることが多いので、薬が届きにくいかもしれませんが、タツプリ注入して下さい。注入後、ぬれた紙などを穴の口に詰めて塞ぎます。



6月に紅葉した葉

ハリガネを差し込んで中の幼虫を刺殺するのも有効です。

庭植ではほとんどありませんが、高温・乾燥が続くと、葉がチリチリになることがあります。乾燥日が続けば、早めに水やりをしましょう。早朝、もしくは夕方にたっぷりと施すのがこつです。十分な水やりを行えば数日は乾燥日が続いても安心です。土がカラカラにならないよう気をつけて下さい。

カエデの種まきについて、

カエデ科カエデ属の樹は、一般には小型の果実をつけ、竹とんぼの形をした翼果を成熟させます。

雌雄異株と雌雄同株があり、ミツデカエデ、オニモミジ、ハナノキは雌雄異株です。アサノハカエデ、チドリノキ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、メグスリノキ等は雄花と両性花を別の株につけますので、近くに雄花があるところから採種して下さい。イロハモミジ、カラコギカエデ、ハウチワカエデ、イタヤカエデ等は雌雄同株ですが出来るだけ交雑の多いところから採種します。



アメリカハナノキの種子

ハナノキは5～6月に種子が成熟しますので、今が撒き時です。

ハナノキ以外はほとんど9～10月に結実しますので取り撒き(種子を採取し、すぐ撒く)します。

カエデの種まきで失敗する原因は、種子を乾燥させるからで、翌春の播種には向いていません。(正本)

研修会のご案内

- 7月 7日(土) 『7月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合
樹木探勝と湿地を観察しよう
講師: 環境省希少野生動植物種保存推進員 吉野 由紀夫
- 7月 14日(火) 『初めての昆虫標本作り』 10:00～12:00 学習室集合
昆虫の標本作りを学びましょう
講師: 技術士 相良 伊知郎
※ 要予約・先着20名・材料代1000円
- 7月 16日(月) 『夏のきのこ教室』 10:00～14:00 第3駐車場集合
野生きのこを採集し名前を知ろう
講師: きのこアドバイザー 川上 嘉章
※ 採集用カゴ持参
- 7月 22日(日) 『夏休み木工教室』 10:00～12:00 学習室集合
木切れで作ろう身の回りの品
講師: もみじの会 岡部 茂
※ 要予約・先着20名・材料代500円
- 7月 29日(日) 『夏休み昆虫教室』 10:00～12:00 学習室集合
講師と一緒に昆虫採集をしよう
講師: 技術士 亀山 剛
※ 要予約・先着40名・採集用具持参

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ (展示場所:レストハウス)

(ボード展示)

愛鳥週間原画コンクール入賞作品展

6月12日(火)～7月4日(水)

愛鳥週間原画コンクールの入賞作品の展示です。

ヒマラヤの村の生活写真展

7月7日(土)～8月5日(日)

ヒマラヤ地方の村の生活の様子などを紹介します。

(ガラスケース展示)

手作り工房 いっちゃん“木の実・木の枝作品展”

6月23日(土)～8月18日(土)

木の実や枝を使っての手作り作品を展示しています。

◎ 時間延長等のお知らせ

7・8月の土・日・祝日は午後5時まで開園時間を延長します。

7月16日(海の日・月曜日)は開園します。

7月17日(火曜日)が振替休園日となります。



木の実・木の枝作品展



表紙; コクチナシ アカネ科クチナシ属

中国原産。仲間にクチナシ、八重クチナシがある。

名前は、実が熟しても口を開かないことから。クチナシの花は食用に、乾燥した果実は布の染料、たくあんの着色、打撲の貼り薬などに利用される。